

Disney  
モアナと伝説の海

結果  
発表

# タラおばあちゃんの 知恵袋コンテスト



Disney.jp/Moana



©2017 Disney. All Rights Reserved.



## 「タラおばあちゃんの知恵袋コンテスト」に たくさんのご応募、 ありがとうございました!

海を愛し、海に選ばれた16歳の少女モアナ――。

立ちはだかる困難に悩み傷つきながらも、

愛する人たちのために大海原への冒険に挑む彼女を導いたのは

彼女の祖母、タラおばあちゃんの教えでした。

島の歴史や伝説を語るタラおばあちゃんからの教えを胸に、

モアナの冒険がはじまります。

ディズニー映画最新作『モアナと伝説の海』の公開を記念して、

タラおばあちゃんがモアナに語ったような

次世代へ伝えたい知恵や豆知識を募集する

「タラおばあちゃんの知恵袋」コンテストを

朝日新聞紙上で実施しました。

たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

タラおばあちゃんを演じた夏木マリさんを審査委員長に、

厳正なる審査の結果、10作品が上位に選ばれました。

さて、どのような知恵袋でしょうか。紹介します。



第1位 タラおばあちゃん賞

## 「眠っている間に笑顔美人に」

中井 和子 さん (71歳・女性)



笑顔ってすてき。誰でも輝いて見えます。すてきな笑顔のためには、夜、眠りにつく前に、何か楽しいことを考えましょう! **眠っている間、ずっとその表情が続いているので、笑顔美人になれます。**泣きながら、怒りながら眠ることは厳禁!



©HIRO KIMURA

夏木さんコメント

### 笑顔で周りもハッピー

笑顔を自分で作れるってとってもハッピーなことでしょ? やっぱり誰かが笑っていたり笑顔を見せてくれると周りもハッピーにしてくれる。だからこれ一番大切なことだと思います。眠っている間にずっと表情が続いているというのが、とっても響きました。





## 第2位 「外出時には古新聞をバッグに」

梅本 恵子 さん (73歳・女性)

外出する時、古新聞の幾枚かをバッグの片隅にしおいておくといいです。買ったものを包むのに、**にわか雨の傘代わりに**、冷え込んだら**背中に入れて暖まります**。どこかに腰掛ける時の敷物に、飲食する時、**膝の上**に広げてナプキン代わりに。使用後は簡単に処理できて便利。

### 夏木さんコメント これは役立つ知恵袋

これはほんと。外出する時、新聞紙の何枚かをバッグの片隅にしおいておくというのは、本当におばあちゃんが教えてくれそうな知恵袋です。生きていく時にとっても役立つことに改めて、そうだなあと気づかせてくれたので2位に選びました。

## 第3位 「唇に歌とほほえみを」

江藤 憲子 さん (80歳・女性)

「**顎の柔らかい人は美しい**」。母の口ぐせは、いつも**稲妻**のように響きました。つらい時も楽しいことを考え、唇に歌と、ほほえみを忘れないで。食べる。歌う。ほほえむ。生き抜くことは、上唇に、神経を、集中させることなのです。**顎の柔らかい人は美しい**。

### 夏木さんコメント 名言！ 顎の柔らかい人は美しい

いま歌うこととか、顔を柔らかくしてほほ笑むということが最近みんな少なくなってきた、この方と同じように私も稲妻のようにあらためて響きました。「顎の柔らかい人は美しい」。名言だと思います。



## 「やけどにはジャガイモを」

香川 智美 さん (27歳・女性)

アイロンや熱い鍋でやけどした時、ヒリヒリして赤くなって痛いんですよね。やけどの後、アロエをぬると良いとよく聞きますが、うちではジャガイモをすって汁ごとガーゼに取り、患部に当てます。うちの88歳になるおばあちゃんの知恵袋です!! ジャガイモで本当に良くなるの?と思いますが、熱が取れて、ミミズバレにもならず、とてもきれいに治ります。お試しください♪

## 「いつも満月でも、闇夜でもない」

ペンネーム 林はな さん (78歳・女性)

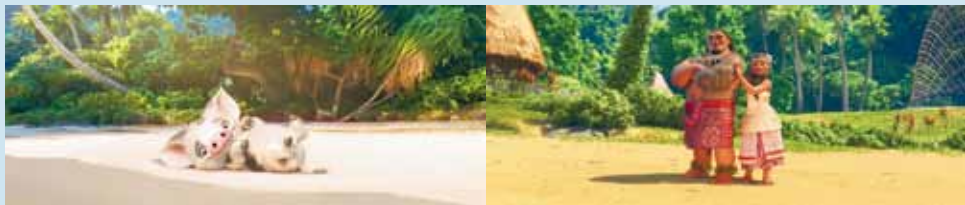
終戦直後の小学3年生の頃。疎開していた福井で祖母ともらい風呂の帰り道。急に月が陰ったが、雲が去って再び明るくなった時、「人生は今と同じ。いつも満月でもないし、闇夜でもない」と言った祖母の言葉。いつも思い出しては、心のよりどころにしています。

## 「ひとりぼっちではないよ」

ペンネーム あんじえら さん (37歳・女性)

ポラリス(北極星)は、方位を確認する時に、必ず北の位置に輝くので、目印の役割をしてくれます。夜空に輝くポラリスは、私たちをあたたく包み込むように輝くのです。「ひとりぼっちではないよ」と心まで、照らしてくれそうです。





## 👑「缶詰のオイルを非常時に活用」

新谷 トシ さん (90歳・女性)

オイルのツナ缶は手軽な缶詰として利用されますが、缶の中のオイルは非常時に、照明用のローソクに活用できます。オイル缶がある時は、いざという時、これで間に合うということですね。

.....

## 👑「犬のオシッコに困った時は」

本城 知子 さん (83歳・女性)

門柱や塀に犬のオシッコをかけられて困っている時、お米のとぎ汁をその場所にかけます。2度や3度ではだめですが、幾度もかけると犬が寄りつかなくなります。

.....

## 👑「相手の目を見て話そうよ」

ペンネーム ちいちゃん さん (57歳・女性)

最近、スマホの画面を見ている人が多いのですが、一緒に食事をしている時も、静かにSNSやゲームをしています。文字にすると相手の心が読めない時もあるから、目の前の人と目を見て話をすると、表情やしぐさから相手の気持ちがわかるよ。見直してほしい、今の生活。

.....

## 👑「シャックリにお砂糖を」

前田 あつ子 さん (87歳・女性)

子どもの頃、シャックリが止まらない時はきまって、砂糖をなめると自然に治っていました。深呼吸をしても、効果があると聞きます。砂糖をなめるといふ非日常的（昔は特に、砂糖は貴重品でした）な行為で、気分をやわらげ、そらす効果があったのでしょう。

※これらは一般の方から寄せられた知恵袋で、効果効能を保証するものではありません。



多くの女性が共感できる、  
ディズニーの新たな傑作です！

海に選ばれた16歳の少女モアナ——海が大好きな彼女は、島の外に出ることを禁じられながらも、幼い頃に海と“ある出会い”をしたことで、愛する人々を救うべく運命づけられる。それは、命の女神テ・フィティの盗まれた“心”を取り戻し、世界を闇から守ること。神秘の大海原へ飛び出した彼女は、伝説の英雄マウイと出会い、世界を救う冒険に挑む。立ち上がる困難に悩み傷つきながらも、自分の進むべき道を見つけていくモアナだったが……。



ディズニーアニメーション最新作は、1人の少女の成長を描く、スペクタクルアドベンチャーです。壮大なスケールで描かれる、圧巻の映像美の中、次々と襲い来る困難に、悩み傷つきながらも、たくましく乗り越えていくモアナの姿は、多くの女性に共感と、勇気をもたらすでしょう。自然に対する敬意、そんなメッセージも、現代に生きる私たちの心に響きます。

第89回アカデミー賞®では、長編アニメーション賞にノミネート。音楽への評価も高く、同じく主題歌賞にノミネートされた「How Far I'll Go」は、あの「Let It Go」と並ぶ名曲との声も。

ディズニー史上最高の映像美と音楽に乗せて、感動の波が押し寄せてくる、傑作です。

